

(様式2)

「第4次鹿嶋市男女共同参画計画」(案)に対するご意見の概要とそれに対する鹿嶋市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	全体に目を通して感じたことだが、とてもコンパクトに、要点をとらえて記述されている印象を受けた。文章の表記法も構成もよく、グラフなども分かりやすく記されていると思う。「はじめに」の市長の言葉である「誰もが輝き、自分らしく生きられるまちの実現を目指してまいります」が、直実に前進していくことを期待する。	ご意見をいただきありがとうございます。本計画に基づき、関係機関等とも連携しながら各施策を推進し、「輝いて自分らしく生きられるまち 鹿嶋」の実現を目指してまいります。
2	「6つの視点」と「3つの基本目標と各施策」もよく体系づけられているように思う。基本目標も具体の各施策もよく整理されていると感じられる。一つだけ申せば、各施策の「具体的な取り組み」と称しつつ、やや具体性に欠ける、逆に言えば抽象的な表現になっている項目が多いようにも感じられる。ここに目標値など具体の数値を掲記すれば、より具体的な取り組みになるのではないだろうか。	ご意見をいただきありがとうございます。ご指摘のとおり「具体的な取り組み」と称しつつ、やや具体性に欠けるため、修正いたします。また、数値につきましては、本計画が今後5年間の方向性を示す性格を踏まえ、幅広い施策を整理して記載しており、施策の性質により指標化の可否や適切な設定方法が異なることから、ご提案につきましては、ご意見としてお伺いいたします。
3	P32の「2 計画の進行管理」を高く評価したい。他の計画に見られるのだが、累次を重ねるに従い、前計画をほぼそのまま書き写したかのような例が見られなくもない。その点、本計画ではしっかりした進行管理を行い、次期計画の策定に役立てていくとの意思が明確に述べられている。	ご評価いただきありがとうございます。本計画では、庁内関係各課の取組状況を毎年把握し、「鹿嶋市男女共同参画推進委員会」による評価・意見等を踏まえて事業改善につなげることで、計画を着実に推進していきます。
4	加えて、続くP33で「3 計画の成果指標」として、「参考指標」を含めて3ページにわたって指標項目ごとに、目標値と達成率を表示していることも評価できる。	ご評価いただきありがとうございます。成果や進捗を客観的に把握し、取組の改善や次期計画の検討につなげるためには、指標を用いた見える化が重要であると認識しています。

5	<p>P23の施策1に「ダイバーシティ宣言に関する各種用語等の認知度は、その多くが50%に届いていません」とあるが、巻末に「用語解説」を設け、「あ行」「か行」と区分して表記しているのはとてもよい。また、説明も丁寧で分かりやすく感じる。そのまま中高生の教材に使えるのではないかと思った。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。男女共同参画・ダイバーシティに関する用語の認知度向上は重要であることから、市民の皆さまに分かりやすい計画となるよう、用語解説の充実を図っています。</p>
6	<p>本文中に出てくる各種の相談窓口を一表にして、〈別冊資料〉につけ加えたらどうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。相談窓口を分かりやすく整理することは、支援を必要とする方に適切な相談先に案内する上で重要な情報であります。本計画の推進期間中に連絡先などに変更が生じることも想定されるため、相談窓口の一覧に関しましては、最新の情報をHP等で案内できるよう努めてまいります。</p>
7	<p>P5「出生率」については、点線枠で囲って欄外で注記しているが、「労働力」については特段の注記などが見当たらない。巻末の「用語解説」にもない。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。P5に記載している「労働力率」について、表の欄外に注記を追加いたします。</p>
8	<p>P10以降の「視点1」は、分かりやすくよくまとめられている。特にP11の「問12」には強い関心を抱いた。東京から移住して20年になるが、移住した初期段階で地域に溶け込もうと努めた折、疑問を持って「鹿島では、こうなんだ」という固定意識に戸惑ったことがある。少しずつ解消されているように感じるが、残念ながら無意識差別が根絶されているとは思えない。自身を含めて改めていかなければならないと、この計画案に目を通して感じた。P14問27のグラフや説明の仕方と、P15問30のそれと異なっている。何か意味があるのか？</p>	<p>ご意見のとおり、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消は、男女共同参画社会の実現に向けた重要な課題です。本計画では啓発・学習機会の創出や情報発信等を通じて理解促進と意識改革に取り組みます。市民の皆さまが気づき、学び、行動につながるよう、分かりやすい周知と継続的な取組を進めてまいります。</p> <p>また、グラフや説明の仕方について、ご指摘ありがとうございます。年度別データと男女別データのグラフの色を変える等の修正及び説明表記の訂正をいたします。</p>

9	<p>P24 施策2の【具体的な取り組み】に幼稚園から高校までの学校での「学習機会の提供」を加えたらいかがか。P23 から P24 にかけて「なかでも人の意識は、乳幼児期からの関わりの中で育まれていくものであり、この時期に形成された意識が大人になってからの価値観に大きな影響を及ぼします」とある。授業のコマの中で実施するのが困難ならば、自由時間や課外などを活用する方法もあるのでは…。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。発達段階に応じた理解促進の取組は、基本目標 1-施策 2-②「若い世代に向けた男女共同参画・ダイバーシティ社会・ライフキャリアデザイン等に関する情報・学習機会の提供」の取組みに含ませており、既に中・高校生の授業の一環で講座等を実施しているところです。今後も機会を見て、学校の協力等をいただきながら事業実施に努めてまいります。</p>
10	<p>P25 施策1の【具体的な取り組み】に関して一言。③に「市職員における管理職への女性登用の推進」が掲げられている。重要なことであるが、管理職への登用のみならず、他分野でも女性職員が活躍できる場があるのではないかと。そうした分野でも積極的な活用が求められる。一例だが以前、市の行財政審議会の委員を拝命していた折、委員への説明や質問に答える場面で、女性職員がそれに当たることが少なかったように記憶している。今はどうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、女性職員の活躍推進は管理職登用にとどまらず、幅広い業務経験を通じた能力発揮と育成が重要であると認識しています。</p> <p>各審議会等における説明や質疑応答の機会につきましては、各課の業務内容や職員の配置状況に応じて、男女差はあるものの、現状としては、女性職員が積極的に対応する場面も多くなってきております。</p> <p>参考までに、本計画の策定に伴う審議会での説明等に関しては、女性職員が対応しております。</p> <p>また、各審議会等に就任いただいている女性委員の発言の機会創出を意識する必要があると考えております。意見等を出しやすい会議の環境づくりを新たな課題として整理し取り組んでまいります。</p>
11	<p>P25の最終行からP26「具体的には」から始まる一文はとても重要なことを述べているが、少々長文に過ぎるようだ。「ほか」とか「や」で接続させず、途中で文を切った方が理解が容易になるように思われる。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、該当箇所について、文の区切り方や接続表現を見直すなど、趣旨がより伝わるよう文章表現の整理を行います。</p>

1 2	P26 施策2の【具体的な取り組み】に加えられないか、思いつきを。経営者や事業者に関してなのだが、市が補助金などを業者に交付する際や入札など発注の際、さらには商工会で業者に対する講習会やイベントが開催される折に、少々時間を割愛して情報提供する場を設けることはできないものだろうか。同施策3にも同様なことが言える。	いただいたご意見を踏まえ、関係部署とも連携しながら、事業者が参加しやすい機会を捉えた周知・情報提供の方法について検討してまいります。
1 3	P27 施策4の10行「しかし」から始まる一文、5行にわたる長文になっている。「少子高齢化社会の急速な進展」から「～地域コミュニティのあり方」までの列記された各項目を、箇条書きにするなどの工夫があった方がよいのではないか。P30の施策3にも6行に及ぶ一文がある。	ご指摘ありがとうございます。いただいたご意見を踏まえ、該当箇所について、文を区切る、箇条書きにする等の表現上の工夫を行い、読みやすく分かりやすい記載となるよう整理します。
1 4	最後に、本計画の基本目標が絵に描いた餅にならず、一歩ずつでも実現に向けて前へと進んでいくことを祈念するとともに、「性別に基づく固定的な役割分担意識や、性差への偏見に由来する社会通念・慣行・慣習など解消すべき課題」が解消していくことを、事業者や市民に広く共有されることを期待する。	本計画の推進にあたり、期待をお寄せいただきありがとうございます。様々な課題はありますが、いただいたご意見のとおり、事業者や市民の皆さまと課題を共有しながら、一歩ずつでも前に進めるよう努めてまいります。